

## TruPhase の導入(5) —デジタル再生における動作確認(3)—

### 1. はじめに

前報(4)に引き続き、TruPhase のデジタル再生における動作確認を実施しました。

### 2. TruPhase のデジタル再生における動作確認方法

前報(3)までは、TruPhase の RCA 入力→RCA 出力の検討でしたが、今回から、TruPhase の XLR 入力→XLR 出力を検討していきます。

本来なら、TruPhase の XLR 出力は、300B シングルアンプの XLR に入力して使用したいところですが、現在アンプが不調であり、XLR 入力→XLR 出力が可能な、その他のルートを探索することにしました。

その候補として、Marantz SA12-S2 の XLR 出力をバランスケーブルで TruPhase の XLR 端子に入力し、TruPhase の XLR 出力は、バランスケーブルで DA-3000 の XLR 端子に入力しました。DA-3000 以降は、以前の経路に戻し、Brooklyn DAC+ 経由で P&G フェーダーから Langevin 6V6pp に接続しました。

### 3. TruPhase のデジタル再生における動作確認の結果

以上の経路で、Marantz SA12-S2 で CD を再生しましたが、音出しは出来ますし、位相反転のスイッチも動作します。音質的には TruPhase の介在は、ずっと前段階ですので、これまでと大きくは変わりませんが、無信号ではノイズもないものの、再生の途中でノイズがあり、音が歪むような感じです。TruPhase のボリュームを絞っても同様です。

これまでも Marantz SA12-S2 のアナログ出力レベルが高く、これを使用する場合は、途中でレベル調整を行うことが必要であることを経験していますので、おそらく TruPhase への入力過多ではないかと推測しています。

### 4. まとめ

Marantz SA12-S2 と DA-3000 の間で TruPhase の XLR 入力→XLR 出力を行うことは可能で、位相反転のスイッチも動作しましたが、音が歪むことがありました。

以上